

令和7年度 第3回世田谷区立図書館運営協議会 次第

日 時 令和7年10月24日(金) 午後6時30分～
場 所 教育会館3階大会議室「ぎんが」

- 1 世田谷区立図書館の運営の在り方に関する方針（管理運営方針）素案について
- 2 第3次世田谷区立図書館ビジョンに基づく各館の取組みの評価・検証
（対象館：粕谷図書館、鎌田図書館、経堂図書館、梅丘仮事務所、奥沢仮事務所、中央図書館）
- 3 「全館共通協議事項」について
- 4 その他（事務連絡）

次回開催予定 日時：令和8年1月27日(火) 18時30分～開催
会場：教育会館3階 大会議室「ぎんが」

○配付資料

- ・次第
- ・座席表
- ・【参考資料】世田谷区立図書館の運営の在り方に関する方針（管理運営方針）素案
- ・【資料1】令和6年度 各館取組みシート
- ・【資料2】「全館共通協議事項」について

○参考資料

- ・各館の児童登録者1人あたりの貸出数について
- ・令和6年度 世田谷区立図書館についてのアンケート調査結果
- ・世田谷区子どもの読書に関する実態調査報告書（令和7年3月）
- ・世田谷のとしょかん 令和7年度版

令和 7 年度 第 3 回世田谷区立図書館運営協議会
「令和 6 年度各館取組みシート」

目 次

粕谷図書館.....	1 ページ～
鎌田図書館.....	5 ページ～
経堂図書館.....	9 ページ～
梅丘図書館仮事務所.....	1 3 ページ～
奥沢図書館仮事務所.....	1 7 ページ～
中央図書館.....	2 1 ページ～
【参考】世田谷区立図書館の特色等一覧表.....	2 7 ページ～

令和6年度 取組項目（第3次図書館ビジョン基本方針1～4の中から取り組み2つを選択）

（1）基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館

取組項目 「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」

（2）基本方針3 地域の特徴を活かし人々がつながる図書館

取組項目 「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

取組項目に基づく主な課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

（1）「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」

課題 新型コロナウイルス感染症対策で子ども向け事業を中止したため、人事異動を経ても事業ノウハウ継承に努め、子ども達が本の楽しさや親しみを感じる企画を円滑に実施する必要がある。

目標 定例的なおはなし会に加え、季節行事に因んだ企画や体験型のイベントを実施して前年度以上の参加者を目指し、子どもたちの本、読書への関心を一層高める。

（2）「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

課題 図書館の事業は子ども向けの企画が多く、大人向けの企画が少ない。そこで、地域の施設との連携やボランティア団体と協力して大人向け企画の充実を図っていく必要がある。

目標 大人向け企画の参加者数を前年度以上とする。

令和6年度 取り組みの実施状況

（1）「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」等

	内容	取組指標	R5	R6	前年比
①	定例おはなし会（子ども及び乳児）	実施回数	32回	35回	109.4%
		参加者数	373人	421人	112.9%
②	特別企画おはなし会	実施回数	3回	3回	100%
	ア 粕谷区民センター夏休み夕涼み会特別企画「こわいおはなし会」	参加者数	ア 33人	ア 24人	ア 72.7%
	イ 夏休み特大おはなし会		イ 15人	イ 29人	イ 193.3%
	ウ 春の特大絵本とわらべ歌の会		ウ 29人	ウ 32人	ウ 110.3%
			計 77人	計 85人	計 110.4%
③	夏休み小学生紙芝居講座	実施回数	1回	1回	100%
		参加者数	16人	12人	75%
④	わくわく科学あそび講座「煮干しの解剖&ちりめんモンスター」	実施回数	1回	1回	100%
		参加者数	63人	82人	130.2%
⑤	世田谷文学館出張展示「シートン動物記」、「若草物語」、「ヨシタケシンスケさんの本」	実施回数	1回	3回	300%
		来館者数	36,184人	88,558人	244.7%
⑥	粕谷区民センター子どもまつり企画	実施回数	1回	1回	100%
	人形劇「赤ずきんちゃん」	参加者数	39人	100人	256.4%

・①の定例おはなし会に加え、②の季節に因んだ特別おはなし会を地域のボランティア団体と協力して実施した。開催数および参加人数とも前年度を上回ることができた。

・③紙芝居作家・実演家の荒木文子氏を講師に招き、話し方、場面展開のやり方を学んだ。

・④科学は難しくないことを知ってもらうため、科学読物研究会より講師を招き、体験実習を行った。煮干しの解剖により脊椎動物の特徴を学び、ちりめんじゃこの中から様々な海洋生物を見つけ出し、これらが生態系を作っていることを学んだ。併せてテーマに関係した本を紹介。（写真：わくわく科学あそび講座）





- ・⑤世田谷文学館より文学作品の展示パネルを借り受け、図書館蔵書と共に展示。パネル展示によりまず視覚的に作品に興味を持ってもらうことを企図。「シートン動物記」(7/12～9/13)「若草物語」(9/13～11/27)、「ヨシタケシンスケさんの絵本」(12/3～1/29)。
- ・⑥人形劇は「赤ずきんちゃん」を実施。前年は事前予約としたが、当日欠席が目立ち苦情があったため、今年は事前予約とせず先着順で受付。大きな混乱もなく無事上演できた。

(2)「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

	内容	取組指標	R5	R6	前年比
①	大人のおはなし会	実施回数	5回	6回	120%
		参加者数	42人	66人	157.1%
②	徳富蘆花講座	実施回数	1回	1回	100%
		参加者数	21人	23人	109.5%
③	図書館活用講座 R6「健康体操」	実施回数	1回	1回	100%
		参加者数	9人	13人	144.4%

- ・①大人が読んでも面白い子ども向けの本の朗読を、ボランティア団体の協力により実施。
- ・②粕谷地域に縁のある明治大正期の小説家徳富蘆花の講座を、蘆花恒春園で活動している NPO 法人より講師を招いて実施。テーマは「賢兄愚弟伝説の実相－徳富蘇峰と蘆花の仲－」。従来の作品中心でなく、蘆花の人物に迫る新しい切り口の講座で大変好評であった。(写真：徳富蘆花講座)
- ・③世田谷区医師会より講師を招き、健康の維持・増進に役立つ体操と本の紹介を行った。



令和6年度取組みに対する自己評価

(1)「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」等

新型コロナウイルス感染症対策で子ども向け事業を中断しており、人事異動もあって円滑に事業再開できるか心配していたが無事実施することができた。様々な企画の開催回数、参加人数とも概ね前年度を超えており、上々の実績と評価する。

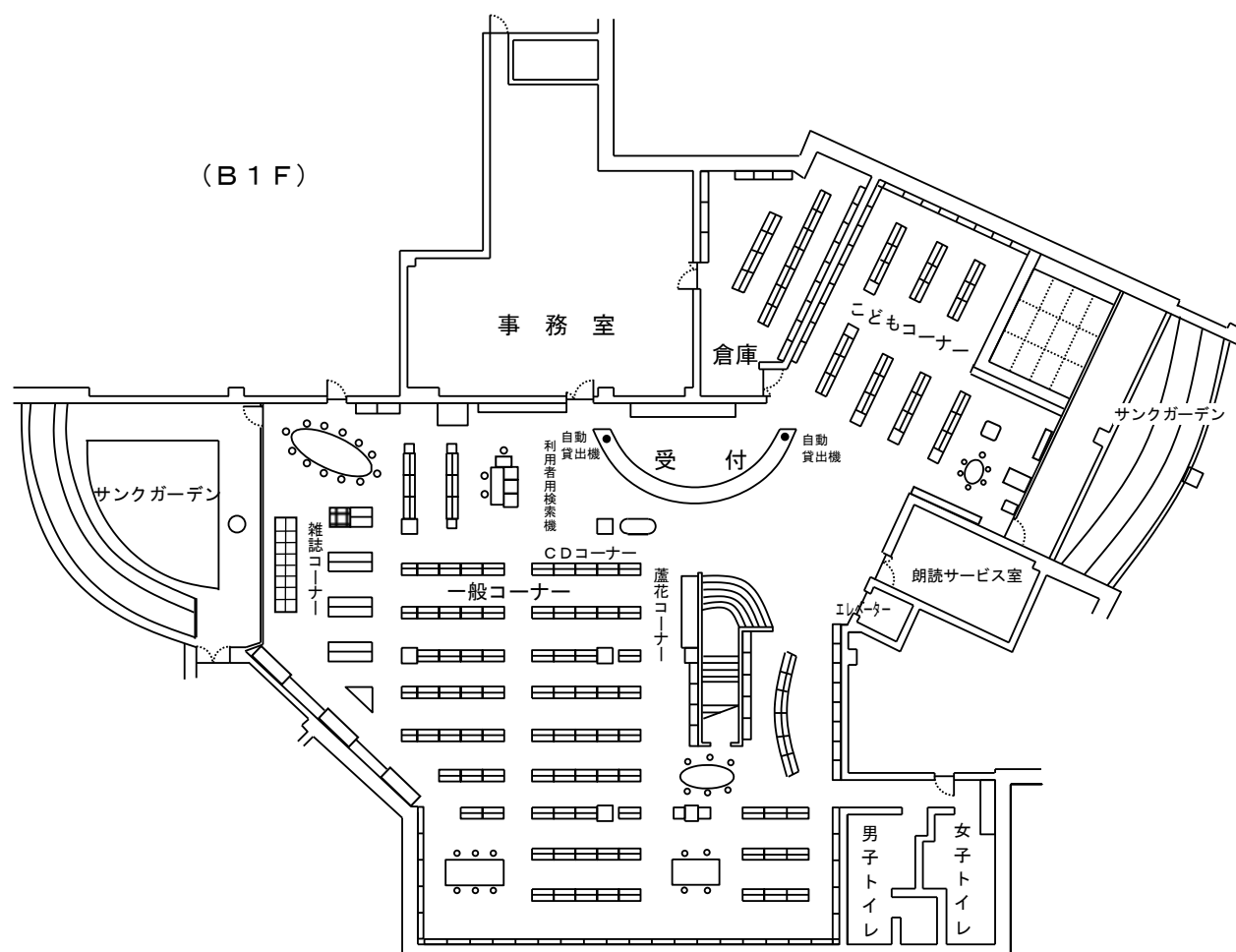
(2)「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」等

大人向け企画は、蘆花恒春園で活動する NPO 法人や地域のボランティア団体等と連携して実施した。地域図書館は最も身近な生涯学習の場であり、地域の人々との連携により一層利用者ニーズに即した企画ができたと考える。

図書館運営協議会からの意見・提案

粕谷図書館

開 設	平成 1 0 年 5 月 2 9 日
所在地	粕谷 4 - 1 3 - 6
	複合施設名称 『粕谷区民センター』
構 造	鉄筋コンクリート地上 2 階地下 1 階建 (図書館は地下 1 階部分)
床面積	1, 0 6 0 m ² (図書館部分)
対面朗読室	1 室
閲覧席	3 6 席 (パソコン利用可能席 : 3 6 席、コンセント有 : 1 1)
資料数	図書資料 9 6, 6 1 8 音響資料 3, 9 1 1 合 計 1 0 0, 5 2 9



項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		4-5年度 増減数	5-6年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 （ ）書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,715	2.4%	1,731	2.4%	1,756	2.4%	16	25
	哲学	2,799	3.9%	2,750	3.8%	2,797	3.8%	△ 49	47
	歴史	6,523	9.0%	6,572	9.1%	6,640	9.1%	49	68
	社会科学	9,104	12.6%	9,107	12.6%	9,250	12.7%	3	143
	自然科学	5,287	7.3%	5,195	7.2%	5,352	7.4%	△ 92	157
	工学	6,092	8.4%	6,145	8.5%	6,219	8.6%	53	74
	産業	2,249	3.1%	2,185	3.0%	2,250	3.1%	△ 64	65
	芸術	7,239	10.0%	7,227	10.0%	7,177	9.9%	△ 12	△ 50
	語学	1,398	1.9%	1,455	2.0%	1,359	1.9%	57	△ 96
	文学	27,748	38.3%	27,427	38.0%	27,616	38.0%	△ 321	189
	地域資料	1,778	2.5%	1,854	2.6%	1,855	2.6%	76	1
	その他	532	0.7%	559	0.8%	451	0.6%	27	△ 108
	一般図書 計	72,464		72,207		72,722		△ 257	515
	児童図書	24,624 （ 24.3% ）		24,717 （ 24.4% ）		23,286 （ 23.2% ）		93	△ 1,431
	大活字本	454		457		596		3	139
	デジタル資料	13		13		14		0	1
	マンガ	0		0		0		0	0
	音響資料	3,775		3,862		3,911		87	49
	障サ資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	101,330		101,256		100,529		△ 74	△ 727
	雑誌・タイトル数	132		133		121		1	△ 12
図書資料 貸出数	一般図書	170,944		158,080		152,715		△ 12,864	△ 5,365
	児童資料	128,872		112,549		105,014		△ 16,323	△ 7,535
	大活字本	350		352		407		2	55
	デジタル資料	3		2		4		△ 1	2
	マンガ	0		0		243		0	243
	雑誌	13,550		11,677		11,966		△ 1,873	289
	音響資料	9,206		7,737		6,646		△ 1,469	△ 1,091
	障サ資料	0		3		0		3	△ 3
	貸出数合計	322,925		290,400		276,995		△ 32,525	△ 13,405
登録者数	一般	7,006		6,842		7,007		△ 164	165
	児童	2,732		2,655		2,646		△ 77	△ 9
来館者数		163,157		164,911		168,246		1,754	3,335
予約数		96,604		85,688		79,367		△ 10,916	△ 6,321
コピー枚数		9,828		9,420		8,872		△ 408	△ 548
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		15.4		14.6		14.6		△ 0.8	0.0

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

令和6年度 取組項目（第3次図書館ビジョン基本方針1～4の中から取り組み2つを選択）

- （1）基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館
取組項目 「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」
- （2）基本方針3 地域の特徴を活かし人々がつながる図書館
取組項目 「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

取組項目に基づく主な課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

（1）「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」

課題 映像やデジタルメディアなど多様な娯楽の浸透により、子どもの読書離れが進んでいる。イベントや展示等を通して子どもへ読書の楽しさ・面白さを伝えていくとともに、図書館の魅力について発信していく必要がある。

目標 科学あそび講座や出張おはなし会といった子ども向けの事業を展開することで、子どもたちが本に触れる機会を増やしつつ図書館の魅力を発信していく。

（2）「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

課題 地域団体や地域住民と連携していくにあたり、より多くの地域住民へ図書館のことを認知してもらえるようPRしていく必要がある。

目標 地域行事へ積極的に参加し図書館についてPRすることで利用者の増加につなげていく。

令和6年度 取組みの実施状況

（1）「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」

取組みに関する指標		R5	R6	前年比
科学あそび講座の開催（6/23 2/2 計2回）	実施回数	—	2回	—
	参加者数	—	37名	—
出張おはなし会の実施	実施回数	2回	1回	50%
	参加者数	276名	167名	60.5%
図書館見学会（まち探検）の実施	実施回数	1回	1回	100%
	参加者数	40名	35名	87.5%

・子ども向け講座は毎年度テーマを決めて開催しており、令和5年度に音楽（わらべ歌）をテーマにしたことを踏まえ、令和6年度は科学をテーマとした科学あそび講座を開催した。小学校低学年が主たる対象で、専門の外部講師の指導のもと子ども自らが実験を行うことによって興味を喚起させるとともに、テーマに関連した書籍を展示し読書活動へ繋げる機会の創出を目的としている。

・出張おはなし会は小学校1・2年生が対象。担当地域の小学校に赴き授業時間におはなし会を行うことにより読書の楽しさ面白さを伝え、合わせて図書館の利用を促した。



（写真：出張おはなし会の様子）

- ・図書館見学会（まち探検）は砧南小学校2年生の希望者が対象。バックヤードを含めた図書館施設内部を1時間程度見学してもらい最後に質疑応答を行う。図書館職員の仕事を知ってもらうとともに、図書館の魅力を伝え、利用につなげることを目的としている。

（２）「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

取組みに関する指標		R5	R6	前年比
図書館活用講座の開催	実施回数	1回	1回	100%
	参加者数	8名	9名	112.5%
喜多見地区区民まつりへの参加	実施回数	—	1回	—
	参加者数	不明	不明	—

- ・令和6年度の図書館活用講座では本の分類方法や読書の楽しみ方等を解説し身近な存在としての図書館の利用促進を図った。

・コロナ禍で休止していた喜多見地区区民まつり（喜多見小学校で開催）が令和6年度復活したためブースを出店。喜多見図書室とともに、来客者に喜多見図書室・鎌田図書館の案内図およびカレンダー等の配布やリユース本の提供により同地区のPRを行った。また残った書籍についてはまちづくりセンターを通じて希望する高齢者施設や乳幼児施設に配布した。



（写真:喜多見区民まつりでの出店の様子）

令和6年度取組みに対する自己評価

（１）「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」

- ・科学あそび講座は天候が悪い中、多くの児童の参加があった。今後は内容の見直しや会場の規模なども含め担当で検討を行い、より一層の集客に努めたい。
- ・出張お話会は学校との日程調整がつかず令和6年度は1校1回の開催となった。令和7年度は年度初めの学校訪問でPRし、できるだけ学校側の都合に合わせて日程調整を行うことで最低3回の実施を目標としたい。
- ・図書館見学会（まち探検）は令和5年度と比べて参加者が減少した。今後は学年単位ではなくクラス単位で訪問場所を決定すると聞いているため、図書館に来てもらえるよう年度当初の学校訪問等で働きかけていく。また距離的な制約はあるが、他の近隣小学校にも声かけを行い、より多くの子どもたちに図書館の魅力を発信できるよう努めていきたい。

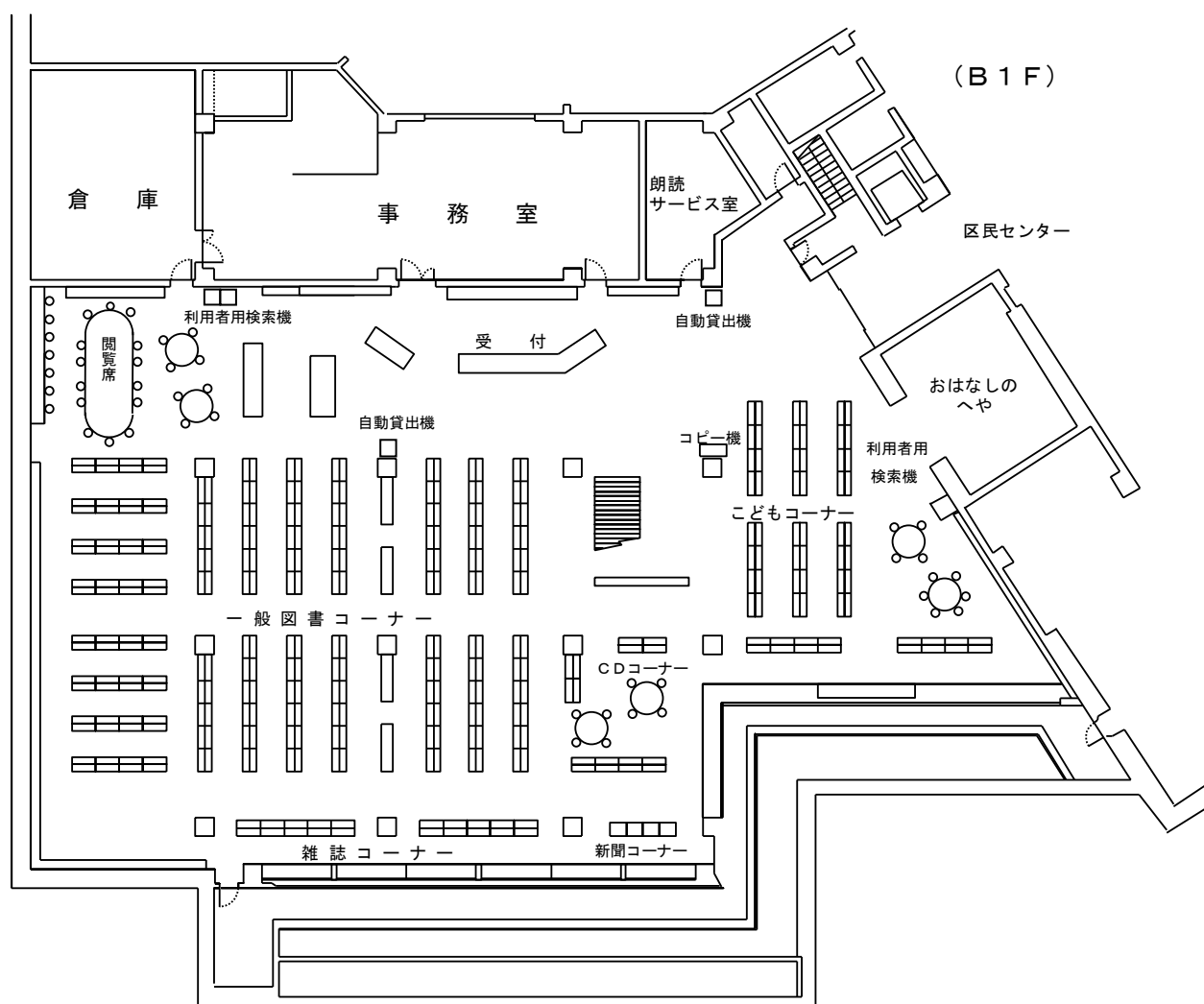
（２）「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

- ・図書館活用講座については参加人数が少ないので内容の改善や区の公式Xを活用するなどPR方法を工夫して参加者を増やしていきたい。
- ・喜多見地区区民まつりへは引き続き出店し、より多くの地域住民に図書館および図書室の存在を認知してもらい利用増につなげていきたい。

図書館運営協議会からの意見・提案

鎌田図書館

開 設	平成10年6月7日
所在地	鎌田3-35-1
	複合施設名称 『鎌田区民センター』
構 造	鉄筋コンクリート地上3階地下1階建 (図書館は地下1階部分)
床面積	1,076㎡(図書館部分)
対面朗読室	1室
閲覧席	45席(パソコン利用可能席:7席、コンセント口数:14)
資料数	図書資料 102,219 音響資料 4,007 合 計 106,226



項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		4-5年度 増減数	5-6年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 （ ）書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,277	1.6%	1,317	1.7%	1,319	1.7%	40	2
	哲学	3,171	4.0%	3,146	4.1%	3,195	4.2%	△ 25	49
	歴史	7,020	8.8%	6,844	9.0%	6,826	9.0%	△ 176	△ 18
	社会科学	10,455	13.1%	10,025	13.1%	10,345	13.7%	△ 430	320
	自然科学	5,659	7.1%	5,568	7.3%	5,607	7.4%	△ 91	39
	工学	7,458	9.4%	7,081	9.3%	7,039	9.3%	△ 377	△ 42
	産業	2,360	3.0%	2,255	3.0%	2,215	2.9%	△ 105	△ 40
	芸術	7,050	8.9%	6,914	9.1%	6,826	9.0%	△ 136	△ 88
	語学	1,458	1.8%	1,418	1.9%	1,340	1.8%	△ 40	△ 78
	文学	31,697	39.8%	29,640	38.9%	28,838	38.1%	△ 2,057	△ 802
	地域資料	1,431	1.8%	1,517	2.0%	1,618	2.1%	86	101
	その他	552	0.7%	536	0.7%	468	0.6%	△ 16	△ 68
	一般図書 計	79,588		76,261		75,636		△ 3,327	△ 625
	児童図書	25,935 （ 23.5% ）		26,570 （ 24.7% ）		25,980 （ 24.5% ）		635	△ 590
	大活字本	561		551		589		△ 10	38
	デジタル資料	14		14		14		0	0
	マンガ	0		0		0		0	0
	音響資料	4,031		3,996		4,007		△ 35	11
	障サ資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	110,129		107,392		106,226		△ 2,737	△ 1,166
	雑誌・タイトル数	196		196		126		0	△ 70
図書資料 貸出数	一般図書	98,002		95,327		102,765		△ 2,675	7,438
	児童資料	112,906		105,596		101,977		△ 7,310	△ 3,619
	大活字本	275		225		592		△ 50	367
	デジタル資料	2		0		9		△ 2	9
	マンガ	0		0		246		0	246
	雑誌	11,580		9,444		9,950		△ 2,136	506
	音響資料	5,239		4,854		3,917		△ 385	△ 937
	障サ資料	0		0		12		0	12
	貸出数合計	228,004		215,446		219,468		△ 12,558	4,022
登録者数	一般	5,456		5,181		5,378		△ 275	197
	児童	2,182		2,196		2,177		14	△ 19
来館者数		162,835		166,627		180,191		3,792	13,564
予約数		57,488		55,123		57,783		△ 2,365	2,660
コピー枚数		6,021		4,981		4,214		△ 1,040	△ 767
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		15.2		14.4		14.4		△ 0.8	0.0

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

令和6年度 取組項目（第3次図書館ビジョン基本方針1～4の中から取り組み2つを選択）

- （1）基本方針1 求められる知識・情報を確実に提供する図書館
取組項目 「新たな情報メディアの収集・提供の検討」
- （2）基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館
取組項目 「中高生世代の興味関心に合ったイベントの開催」

取組項目に基づく主な課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

（1）「新たな情報メディアの収集・提供の検討」

課題 ビジネス書の要約サービス「flier（フライヤー）」の利用促進。設備はあるものの認知度が低く閲覧回数も伸び悩んでいる。積極的なPRや提供のための取り組みが不十分であることが課題とされる。

目標

- ・「flier」サービスの概要や使い方などを、分かりやすい形で周知する機会を設ける。
- ・要約を実際に読んで良さを体験して貰える機会を、イベント形式で設ける。
- ・要約閲覧回数を評価指標とし、閲覧回数の推移を昨年との比較等で確認する。
- ・来館者だけでなく非来館者にもPRできるよう、SNSなどを活用して情報発信する。

（2）「中高生世代の興味関心に合ったイベントの開催」

課題

- ・公立小中学校は区立図書館共通のサービスを提供しているが、私立学校には行き届いていないのではないかと考えられる。
- ・経堂図書館の特色であるビジネス支援は、進路を考える学生にも役立つと思われる。ビジネスを切り口に中高生対象イベントを展開すると、興味関心をもたれるのではないかと。

目標

- ・近隣の私立中高である鷗友学園女子中学高等学校との連携をすすめる。
- ・ビジネスの視点から学びの視野を広げ、進学や就職の一助となるような中高生を対象としたビジネスイベントを開催する。

令和6年度 取組の実施状況

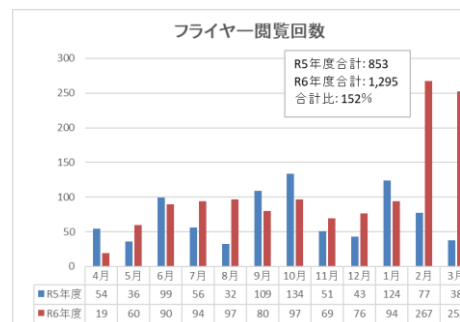
（1）「新たな情報メディアの収集・提供の検討」

取組に関する指標		R5	R6	前年比
flier 閲覧回数	閲覧回数	853 回	1,295 回	151.8%
flier 要約読書会	実施回数	—	2 回	—
	参加者数	—	第1回（6/11）：10 名 第2回（2/18）：8 名	—

- ・「flier の使い方講座＆要約読書会」を開催。概要や使用方法をレクチャーし、参加者が同じ本の要約を読み意見交換した。（6/11、2/18 開催）
- 30～50 歳代の参加者が多く、実施後のアンケートも満足度が高かった。



- ・flier 閲覧回数を一ヶ月ごとに抽出し前年度と比較。約 152%と大きく上昇した。2/18「要約読書会」後に大幅に閲覧数が増加している。
- ・非来館者への広報として、経堂図書館Instagramでの紹介、メディアでは読売新聞オンラインとテレビの情報番組で紹介いただいた。



(2)「中高生世代の興味関心に合ったイベントの開催」

取組みに関する指標		R5	R6	前年比
鷗友学園図書館見学	実施回数	—	2回	—
	参加者数	—	第1回(5/29): 7名 第2回(1/24): 8名	—
10代のための入門マーケティング講座	実施回数	—	1回	—
	参加者数	—	20名	—

- ・鷗友学園女子中学高等学校より、図書委員の学生が図書館見学に訪れた。
フロア案内、経堂図書館の紹介、公共図書館の特徴を学校図書館と比較して紹介。
学生からは「10代の棚が欲しい」「図書館の情報が入ってこない」という話もあり、もっと発信して欲しいという要望もいただいた。
- ・「10代のための入門マーケティング講座」は、小学生から大学生まで幅広く参加。中高大学生の比率はほぼ同じだった。受講後のマーケティングへの興味に関しては、「興味がある」(71%)、「やや興味がある」(29%)と参加者全員が興味をもったことが分かった。



令和6年度取組みに対する自己評価

(1)「新たな情報メディアの収集・提供の検討」

- ・flier サービスは、使い方レクチャーと要約読書会を行ったことにより、その後の閲覧回数も増え、周知が進んだと思われる。また、参加型のイベントとしても有意義なものとなった。
- ・SNSやメディアでの広報では、効率よく読むというだけではなく、本とのマッチングのための選書ツールにもなることも強調した。要約が新しい本の読み方の提案になるように努めていきたい。

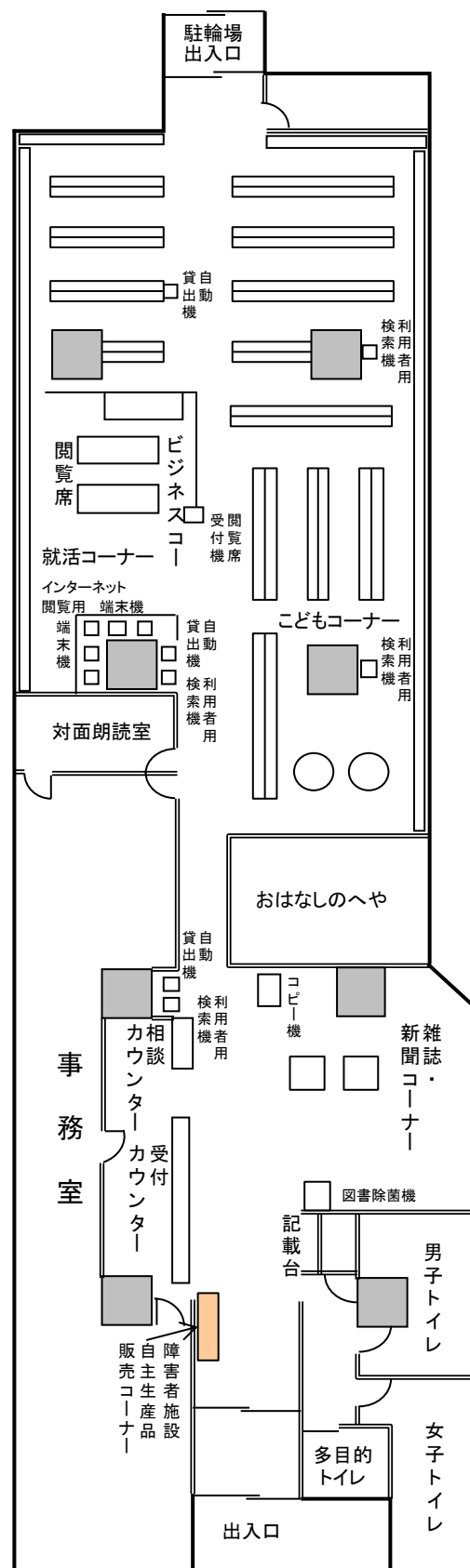
(2)「中高生世代の興味関心に合ったイベントの開催」

- ・鷗友学園女子中学高等学校との連携によって、私立学校への公共図書館サービスが一步前進した。学生から図書館への関心や要望を伺うことができ、学校とどう連携するかの参考にもなった。
- ・「10代のための入門マーケティング講座」では、参加者の声に「思考のプロセスが面白かった」、「人間の心理をよんで考えていく点が面白いと感じた」、「プロモーションの企画などに魅力を感じた」等があり、生の感想を聞いたことで中高生世代の関心の掘り起こしになった。

図書館運営協議会からの意見・提案

経堂図書館

開 設	平成18年7月26日
所在地	宮坂3-1-30
構 造	鉄骨造1階建
床面積	656.13m ²
対面朗読室	1室
閲覧席	23席 (パソコン利用可能席:23席 コンセント口数 :15)
資料数	図書資料 81,427 音響資料 0 合 計 81,427



項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		4-5年度 増減数	5-6年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 （ ）書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,276	2.1%	1,299	2.2%	1,247	2.1%	23	△ 52
	哲学	2,550	4.3%	2,557	4.3%	2,472	4.2%	7	△ 85
	歴史	4,416	7.4%	4,595	7.7%	4,605	7.8%	179	10
	社会科学	9,567	16.0%	9,503	15.9%	9,028	15.4%	△ 64	△ 475
	自然科学	3,809	6.4%	3,824	6.4%	3,813	6.5%	15	△ 11
	工学	5,171	8.6%	5,100	8.5%	4,812	8.2%	△ 71	△ 288
	産業	1,919	3.2%	1,927	3.2%	1,897	3.2%	8	△ 30
	芸術	4,188	7.0%	4,118	6.9%	4,030	6.9%	△ 70	△ 88
	語学	1,107	1.9%	1,134	1.9%	1,146	1.9%	27	12
	文学	23,716	39.7%	23,592	39.5%	23,653	40.2%	△ 124	61
	地域資料	1,441	2.4%	1,443	2.4%	1,509	2.6%	2	66
	その他	625	1.0%	598	1.0%	583	1.0%	△ 27	△ 15
	一般図書 計	59,785		59,690		58,795		△ 95	△ 895
	児童図書	23,650 （ 28.3% ）		23,150 （ 27.9% ）		22,397 （ 27.5% ）		△ 500	△ 753
	大活字本	145		163		222		18	59
	デジタル資料	13		13		13		0	0
	マンガ	0		0		0		0	0
	音響資料	0		0		0		0	0
	障サ資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	83,593		83,016		81,427		△ 577	△ 1,589
	雑誌・タイトル数	146		144		155		△ 2	11
図書資料 貸出数	一般図書	386,092		382,525		397,173		△ 3,567	14,648
	児童資料	189,434		188,152		199,523		△ 1,282	11,371
	大活字本	595		664		789		69	125
	デジタル資料	0		7		2		7	△ 5
	マンガ			0		878		0	878
	雑誌	34,601		31,521		29,424		△ 3,080	△ 2,097
	音響資料	11,170		9,418		9,158		△ 1,752	△ 260
	障サ資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	621,892		612,287		636,947		△ 9,605	24,660
登録者数	一般	21,883		21,275		22,644		△ 608	1,369
	児童	2,839		2,746		2,696		△ 93	△ 50
来館者数		539,804		572,607		661,496		32,803	88,889
予約数		264,012		253,259		267,073		△ 10,753	13,814
コピー枚数		38,065		39,314		45,993		1,249	6,679
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		26.1		27.1		27.3		1.0	0.2

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

梅丘図書館仮事務所（住所：世田谷区松原 6-41-8 運営体制：一部業務委託）

令和6年度 取組項目（第3次図書館ビジョン基本方針1～4の中から取り組み2つを選択）

- （1）基本方針3 地域の特徴を活かし人々がつながる図書館
取組項目 「落ち着いて快適に読書や調べものができる施設づくり」
- （2）基本方針3 地域の特徴を活かし人々がつながる図書館
取組項目 「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

取組項目に基づく主な課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

（1）「落ち着いて快適に読書や調べものができる施設づくり」

課題 旧梅丘図書館の老朽化に伴い、令和5年11月から改築工事が開始し、令和8月2月に新館が開館予定である。現在はカウンター業務中心の仮事務所で運営していることもあり、区民（利用者）の新館への期待は大きい。

目標 改築後の新館でも、旧館と同じように多くの閲覧席や飲食スペースの確保、様々な用途に使用できるスペースの設置など、居心地の良い図書館づくりに取り組んでいく。

（2）「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

課題 仮事務所では、旧梅丘図書館で実施していたおはなし会等の事業のほとんどを休止している。休止の理由はスペース的な問題が大きい。

目標 梅丘図書館専属で活動するボランティア団体が制作する手づくりの布絵本は、区内の図書館で唯一所蔵、貸出を行っている。仮事務所においても新規制作活動を継続するとともに、他の図書館事業や近隣の福祉施設との事業に参加して布絵本を積極的にPRする。

令和6年度 取組みの実施状況

（1）「落ち着いて快適に読書や調べものができる施設づくり」

①新館の主な特徴

- ・1階は、事前に予約した資料を、カウンターを通さずに受け取ることができる予約図書コーナーの設置や、飲食しながら読書を楽しむことができるカフェエリア、自由に創作活動ができるワークショップエリアなどを設け、これまでの図書館になかったコミュニティ形成や新たな活動ができるフロアとしている。
- ・2階は、地域図書館としては最大の約80席の閲覧席（全席にコンセントあり）を設置する。席は予約制であり、WEBからの予約も可能とする予定である。また、中高生が居場所として集まれるように、一部の書架の並びに変化を持たせるなど中高生向けの空間を確保する。
- ・3階は、羽根木公園と直接つながるブリッジを設置するほか、講座や学習室など様々な目的で使用可能な多目的室、自然やまちの景観を感じながら読書ができるテラスを設ける。また、子ども向けのエリアとして屋外で読み聞かせなどができるキッズテラス、自由に絵や文字がかける壁面のあるおはなしの部屋など子どもたちも楽しめるような空間としている。

1階 賑わい・交流・創作

・発信のフロア
自由に創作活動ができる
ワークショップエリアや
飲食しながら読書を楽しむ
カフェエリアなど



2階 新たな学びや自分に合った居場所に 出会うフロア

インターネット予約
可能な閲覧席（約80席）
のほか、中高生世代向け
書架エリアなど



3階 自然を感じながら 感性を育むフロア

講演会・講座、学習席などに
使用できる多目的室や親子
での読み聞かせができる
キッズテラスなど



②新館オープンに向けた令和6年度の実績

- ・仮事務所に開架書架はないが、新館に向けて新刊本を中心に図書の購入を行った。
- ・新館では、閲覧席や各諸室が居心地よく利用できるように、また、様々な用途に対応できるように什器の選定を行った。また、梅丘地区ならではの福祉・医療のまちづくりを踏まえ、ユニバーサルデザインに配慮した什器を選定することができた。
- ・開館後は、指定管理による運営を予定しているが、指定管理事業者とともに、カフェエリア、閲覧席のWEB予約の運用検討などを進めるとともに、ボランティア団体とは、ワークショップエリアの運用や布絵本の展示場所等について、検討を行った。



梅丘新館 外観（R7.9.27撮影）

（２）「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

取組に関する指標		R5	R6	前年比
布絵本実績	所蔵数	59 点	63 点	106.8%
	貸出数	157 回	561 回	357.3%
布絵本の図書館事業「おはなしいっぱい」での展示	実施回数	－	1 回（8 月）	－
	参加者数	－	展示ブース観覧者は未確認	－
布絵本の地域連携事業「うめとぴあフェスタ」での展示	実施回数	－	1 回（10 月）	－
	参加者数	－	80 人（展示ブース観覧者）	－

- ・令和5年度に仮事務所に移転となったため、制作を中心とした活動になった。制作した布絵本は、桐生市「第14回手づくり布の絵本全国コンクール」に出品し、「織物のまち大賞（最優秀作品）」を受賞している。カウンター前に表彰状と最優秀作品を飾ったことで、貸出数が大幅に増えた。
- ・令和6年度の布絵本活動は新規制作（4点制作）のほか、「世田谷おはなしネットワーク」が主催で開催している「おはなしいっぱい」や保健医療福祉の拠点である「うめとぴあ」で開催されたイベントに展示ブースで参加した。来場者に直接布絵本に触れてもらい、その魅力をPRした。

令和6年度取組に対する自己評価

（１）「落ち着いて快適に読書や調べものができる施設づくり」

地域特性に合った福祉・医療関係の図書を重視して購入、改築後の新館で使用する什器の選定、各諸室の運用の検討など、新館オープンに向けて取り組むことができた。引き続き、ワークショップエリア、カフェエリア、多目的室等の活用方法などを指定管理者とともに検討し、区民（利用者）にとって居心地のよい図書館となるよう取り組んでいく。

（２）「地域の人々との連携、地域の人々の図書館活動への参加」

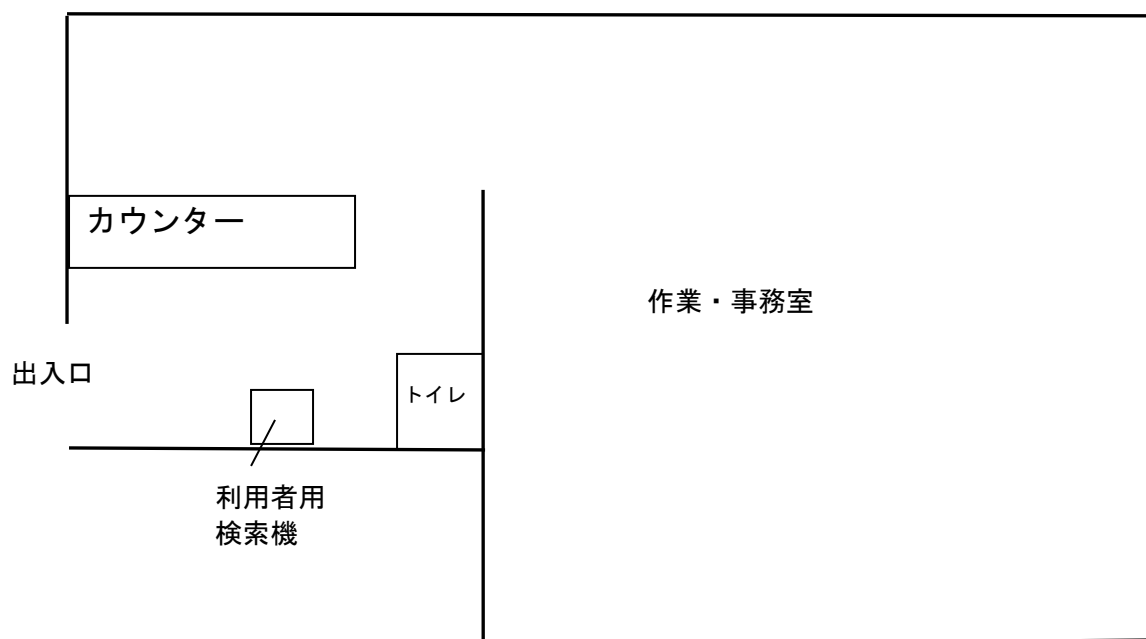
仮事務所でも引き続き布絵本の制作活動を行い、複数の事業に参加したことで布絵本の魅力を事務所以外でもPRすることができた。新館でも来館者が目につく場所に布絵本の展示を行うなど、PRを進めていきたい。また、地域特性である「福祉のまち 梅丘」を踏まえ、近隣の福祉施設の事業に参加したことで、新館開館後の地域の人々（うめとぴあ等）との連携に向けた検討を進めることもできた。

図書館運営協議会からの意見・提案

梅丘図書館仮事務所

梅丘図書館は、老朽化による解体工事のため休館し、新館開設まで下記の通り仮事務所を設置（新館は令和8年2月開館予定）

開 設	令和5年6月1日		
所在地	松原6-41-8		
構 造	鉄骨造地上1階建の一部		
床面積	180.24㎡		
資料数	図書資料	87,	717
	音響資料	1,	753
	合 計	89,	470



※予約資料の貸出・返却、予約受付、利用者登録等を行う。なお、書架や閲覧スペースはなし。

項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		4-5年度 増減数	5-6年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 （ ）書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	2,268	3.3%	2,201	3.4%	2,242	3.4%	△ 67	41
	哲学	2,458	3.6%	2,379	3.6%	2,534	3.8%	△ 79	155
	歴史	7,239	10.6%	6,624	10.1%	6,285	9.5%	△ 615	△ 339
	社会科学	8,735	12.8%	8,352	12.8%	8,659	13.0%	△ 383	307
	自然科学	5,160	7.6%	4,949	7.6%	5,293	8.0%	△ 211	344
	工学	4,879	7.2%	4,546	6.9%	4,601	6.9%	△ 333	55
	産業	1,826	2.7%	1,737	2.7%	1,774	2.7%	△ 89	37
	芸術	5,626	8.3%	5,334	8.2%	5,389	8.1%	△ 292	55
	語学	1,395	2.0%	1,302	2.0%	1,328	2.0%	△ 93	26
	文学	25,346	37.2%	24,807	37.9%	25,271	38.0%	△ 539	464
	地域資料	2,677	3.9%	2,632	4.0%	2,604	3.9%	△ 45	△ 28
	その他	567	0.8%	557	0.9%	487	0.7%	△ 10	△ 70
	一般図書 計	68,176		65,420		66,467		△ 2,756	1,047
	児童図書	22,330 (24.0%)		20,231 (22.9%)		20,396 (22.8%)		△ 2,099	165
	大活字本	769		751		838		△ 18	87
	デジタル資料	16		16		16		0	0
	マンガ	0		0		0		0	0
	音響資料	1,908		1,752		1,753		△ 156	1
	障サ資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	93,199		88,170		89,470		△ 5,029	1,300
	雑誌・タイトル数	186		185		2		△ 1	△ 183
図書資料 貸出数	一般図書	168,760		82,770		74,206		△ 85,990	△ 8,564
	児童資料	91,370		30,260		27,106		△ 61,110	△ 3,154
	大活字本	641		158		99		△ 483	△ 59
	デジタル資料	7		0		6		△ 7	6
	マンガ	0		0		372		0	372
	雑誌	12,403		4,883		2,716		△ 7,520	△ 2,167
	音響資料	8,447		3,553		2,044		△ 4,894	△ 1,509
	障サ資料	3		0		0		△ 3	0
	貸出数合計	281,631		121,624		106,549		△ 160,007	△ 15,075
登録者数	一般	11,080		9,763		8,733		△ 1,317	△ 1,030
	児童	1,486		1,359		1,224		△ 127	△ 135
来館者数		—		—		—		—	—
予約数		94,328		77,373		64,261		△ 16,955	△ 13,112
コピー枚数		18,405		2,450		0		△ 15,955	△ 2,450
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		18.6		16.5		10.9		△ 2.1	△ 5.6

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

令和6年度 取組項目（第3次図書館ビジョン基本方針1～4の中から取り組み2つを選択）

- （1）基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館
取組項目 「図書館を子どもたちから見て楽しい場所にする」
- （2）基本方針3 地域の特徴を活かし人々がつながる図書館
取組項目 「地域の各施設、機関との連携」

取組項目に基づく主な課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

- （1）「図書館を子どもたちから見て楽しい場所にする」

課題 令和5年4月から仮事務所移転により子ども室がなくなったことで、子どもの利用が大きく減っているため利用促進を図っていく必要がある。

目標 児童書の展示コーナー設置、移動文学館の展示などを実施し、仮事務所内の子どもスペースの充実に取り組む。

- （2）「地域の各施設、機関との連携」

課題 小学校や区民センター・児童館等と連携して地域の生涯学習事業に取り組み、地域住民に親しまれる図書館運営を目指す必要がある。

目標 出張おはなし会等の実施、区民センター文化祭や地区まつりへ図書館 PR コーナーとして参加・協力など、地域連携・地域貢献等を進めていく。

令和6年度 取り組みの実施状況

- （1）「図書館を子どもたちから見て楽しい場所にする」

取組に関する指標		R5	R6	前年比
子ども向け本の展示	実施回数	17 回	23 回	135.3%
	参加者数	—	—	—
移動文学館の展示	実施回数	2 回	2 回	100.0%
	参加者数	—	—	—
児童資料貸出数における児童登録者1人あたりの貸出数		22.06 冊	24.37 冊	110.5%
利用者別児童資料貸出数における児童登録者1人あたりの貸出数		6.52 冊	6.94 冊	106.4%

- ・これまでの季節をテーマにした絵本の展示のほか、「夏休みの自由研究」「授業で習うテーマの本」など小学生を対象とした本を展示し、低学年から高学年までの児童の利用促進に取り組んだ。
- ・移動文学館の展示は、各2～3カ月の期間で2回行った。テーマにあわせた本の展示も行い、「SF入門」では子どもから大人まで楽しんでいただけるよう、職員で話し合って展示本の選書を行った。



児童書の展示コーナー・移動文学館展示

- ・児童書の貸出数は前年度から僅かに下回ったが、児童登録者1人あたりの貸出数でみると前年度を上回る結果となった。

(2)「地域の各施設、機関との連携」

取組みに関する指標		R5	R6	前年比
出張おはなし会等 (区立小学校・子育て児童広場)	実施回数	26 回	25 回	96.2%
	参加者数	310 人	334 人	107.7%
図書館 PR コーナー	実施回数	2 回	2 回	100%
	参加者数	—	—	—

- ・仮事務所移転後、区立小・中学生の図書館見学などが実施できなくなったが、出張おはなし会や調べ学習の支援、乳幼児向けおはなし会の開催など、学校や児童館と連携して取り組んだ。
- ・奥沢地区の大きなイベントである、奥沢区民センター文化祭と新春奥沢地区まつりに、図書館 PR コーナーとして参加し、パスファインダーの紹介、リユース本の配布などを行った。
また、奥沢区民センターの美術講座・文学講座について、テーマに合わせた図書数十冊を資料提供し、受講者が自由に読めるよう会場内に展示し、講座終了後、希望者に資料の貸し出しを行った。



奥沢区民センター文化祭
図書館 PR コーナー

令和6年度取組みに対する自己評価

(1)「図書館を子どもたちから見て楽しい場所にする」

仮事務所に移転後、限られたスペースの中でレイアウトを見直して児童書の展示コーナーを設置し、旧奥沢図書館から本を搬入して展示を行ってきた。児童書の貸出実績冊数は5年度と比較して横ばいであったが、全体的に減少傾向にある中で、児童登録者1人あたりの貸出数では増加となった。仮事務所では実際に本を手にとって選ぶことのできる展示コーナーは有用と考えられ、引き続き取り組んでいく。

(2)「地域の各施設、機関との連携」

区民センターと児童館が月1回実施している「奥沢コミコミひろば」と、図書館の夏休みおはなし会を合同開催したところ多くの参加があり、また、その後のひろばの参加者も増え相乗効果が得られた。今後も地域の活動団体等と連携して、効果的な事業運営を進めていきたい。

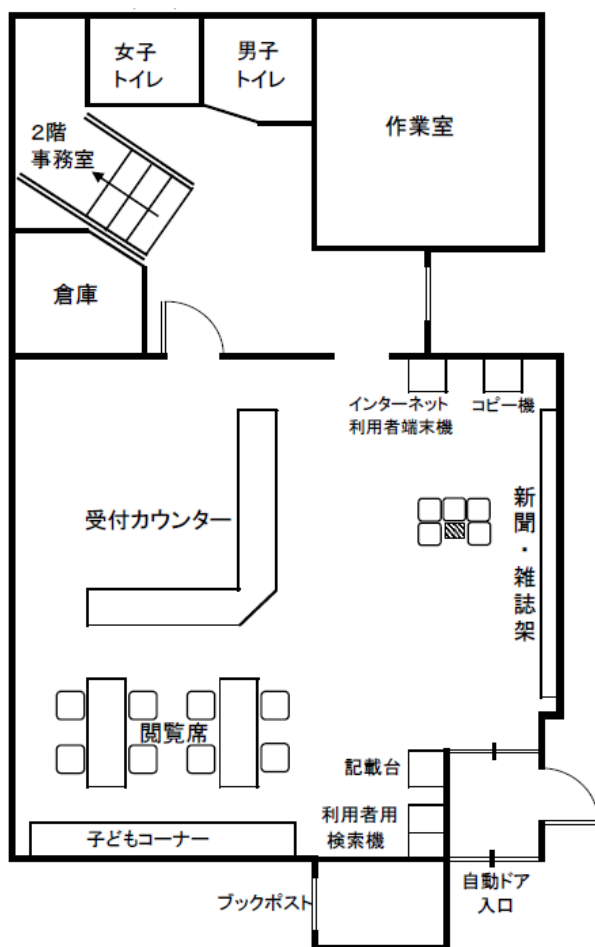
図書館運営協議会からの意見・提案

奥沢図書館仮事務所

建物の耐震化準備のため令和5年3月27日から休館し、旧奥沢まちづくりセンターの建物を一部改装し仮事務所を設置

開 設	令和5年4月4日		
所在地	奥沢3-5-7（旧奥沢まちづくりセンター）		
構 造	鉄筋コンクリート地上2階建 （1階：受付カウンター、新聞・雑誌閲覧スペース、子どもコーナー 2階：事務室）		
床面積	140㎡（建物1階部分）		
資料数	図書資料	71,740	
	音響資料	2,382	
	合 計	74,122	

（1F）



※予約資料の貸出・返却、予約受付、利用者登録等を行うほか、小規模な新聞・雑誌の閲覧スペース及び子どもコーナーを設置

項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		4-5年度 増減数	5-6年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 （ ）書き は、所蔵数 合計に対し ての比率	総記	1,238	2.4%	1,229	2.4%	1,217	2.3%	△ 9	△ 12
	哲学	1,091	2.1%	1,104	2.1%	1,145	2.2%	13	41
	歴史	4,623	8.9%	4,532	8.8%	4,341	8.4%	△ 91	△ 191
	社会科学	6,850	13.2%	6,751	13.1%	6,845	13.2%	△ 99	94
	自然科学	3,521	6.8%	3,426	6.6%	3,495	6.7%	△ 95	69
	工学	3,932	7.6%	3,913	7.6%	3,981	7.7%	△ 19	68
	産業	1,557	3.0%	1,522	3.0%	1,505	2.9%	△ 35	△ 17
	芸術	4,915	9.5%	4,962	9.6%	5,045	9.7%	47	83
	語学	1,075	2.1%	1,077	2.1%	1,091	2.1%	2	14
	文学	20,837	40.1%	21,025	40.8%	21,233	40.9%	188	208
	地域資料	1,564	3.0%	1,345	2.6%	1,362	2.6%	△ 219	17
	その他	718	1.4%	707	1.4%	659	1.3%	△ 11	△ 48
	一般図書 計	51,921		51,593		51,919		△ 328	326
	児童図書	18,835 （ 25.5% ）		19,054 （ 25.8% ）		19,162 （ 25.9% ）		219	108
	大活字本	630		577		649		△ 53	72
	デジタル資料	10		10		10		0	0
	マンガ	0		0		0		0	0
	音響資料	2,553		2,515		2,382		△ 38	△ 133
	障サ資料	0		0		0		0	0
	所蔵数合計	73,949		73,749		74,122		△ 200	373
	雑誌・タイトル数	178		178		37		0	△ 141
図書資料 貸出数	一般図書	120,972		76,744		78,055		△ 44,228	1,311
	児童資料	66,839		28,348		27,368		△ 38,491	△ 980
	大活字本	800		393		57		△ 407	△ 336
	デジタル資料	4		0		4		△ 4	4
	マンガ	0		0		261		0	261
	雑誌	12,648		8,814		8,350		△ 3,834	△ 464
	音響資料	7,234		3,403		3,634		△ 3,831	231
	障サ資料	0		0		0		0	0
	貸出数合計	208,497		117,702		117,729		△ 90,795	27
登録者数	一般	8,148		7,073		6,237		△ 1,075	△ 836
	児童	1,397		1,285		1,123		△ 112	△ 162
来館者数		—		—		—		—	—
予約数		91,063		85,878		82,288		△ 5,185	△ 3,590
コピー枚数		14,666		2,312		2,174		△ 12,354	△ 138
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		13.6		13.6		13.0		0.0	△ 0.6

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

中央図書館（住所：世田谷区弦巻 3-16-8 運営体制：直営）

※中央図書館は、区の中央館及び地域図書館としての両面の機能・役割を持つ

令和6年度 取組項目（第3次図書館ビジョン基本方針1～4の中から取り組み2つを選択）

- (1) 基本方針1 求められる知識・情報を確実に提供する図書館
取組項目 「本の世界をより深く理解するための様々な学びの機会の提供」
- (2) 基本方針2 子どもの健やかな成長を支える図書館
取組項目 「図書館を子どもたちから見て楽しい場所にする」

取組項目に基づく主な課題と目標（どのような課題をどのように取り組むか）

(1) 「本の世界をより深く理解するための様々な学びの機会の提供」

課題 近隣住民等を対象に本に親しむ・地域を知るための講座を開催しており、好評を得ている。一方、ミドル層など図書館の利用が比較的少ない方に対しての事業の実施や広報が課題となっている。また、図書館全体の取組み水準を向上させていくことも課題である。

目標 イベントを開催するだけではなく図書館資料の利用につながるよう、関連資料の紹介等を検討していく。あわせて、区の他所管と連携した各種展示を行い、新たな学びのきっかけづくりに取り組んでいくとともに、地域館でも取り組みが行えるよう環境整備を行う。

(2) 「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」

課題 おはなし会や学校への調べ学習資料配送など子どもと本を結びつける事業以外に、電子書籍サービスの活用など中央図書館特有の事業について取り組みを強化していくことが課題である。また、予約数に比べて蔵書数が少ない学習マンガなどは予約後も長期間待ってもらいが必要があり、子どもたちに図書館が身近な施設と認識してもらえなくなる懸念があった。

目標 電子書籍サービスや貸与タブレットを利用した情報発信などを進め、子どもたちの読書の枠を広げるとともに図書館情報を行き届きやすくする。また、児童書については予約後なるべく短期間で提供できるようにすることで、子どもたちが図書館を今後も利用したい施設と思ってもらえるようにする。

令和6年度 取組みの実施状況

(1) 「本の世界をより深く理解するための様々な学びの機会の提供」

取組みに関する指標		R5	R6	前年比
中央図書館主催事業 (一般向け)	実施回数	9回	8回	88.9%
	参加者数	572名	510名	89.2%
テーマ展示・パネル展示	実施回数	42回	37回	88.1%
個人貸出数		706,680冊	725,731冊	102.7%
来館者数		418,194人	444,766人	106.4%

・中央図書館主催事業として、バリアフリー映画上映会や点字に関する事業を行い、りんごの棚などバリアフリー資料について知ってもらう機会となった。

・やくみつるさんの講演会、自分史講座、回想法体験イベントなどを実施し、保存庫で所蔵している雑誌のバックナンバーや新聞記事のオンラインデータベースを紹介した。



やくみつるさんが語る平成時代の様子
(日刊スポーツ新聞社提供)

- ・ミドル層への働きかけは、「文字・活字文化の日記念講演会」として、司書資格を持つお笑い芸人を講師として招き実施した。
- ・各種展示では、国立国会図書館デジタルコレクションを活用した源氏物語絵巻に関する展示のほか、区の他所管、文学館やプラネタリウムとも連携した展示を行い、本やその分野に興味をもってもらえるような機会を提供した。

(2)「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」

内容	令和 5 年	令和 6 年
児童生徒向け電子書籍 読み放題サービスの提供	導入に向けての調査・検討	11セット 518コンテンツ導入
貸与タブレットへの ブックリスト配信	実施に向けての調査・検討	児童生徒へ貸与している タブレットから閲覧可能
予約多数本の購入数 (6ヵ月以内に提供できることを目標)	500冊	245冊

- ・同時アクセス数制限がなく朝の一斉読書や調べ学習での利用が期待できる「児童生徒向け電子書籍の読み放題サービス」を令和6年度に導入し児童生徒の読書の選択肢を広げた。
- ・令和5年度までは紙で配布していたブックリストを児童生徒に貸与しているタブレットからでも確認できるようにし、いつでもおすすめ本が確認できる体制を整えた。
- ・図書館は読みたい本が読める場所であることを子どもたちに実感してもらうため、蔵書数と比べて予約数が多い学習マンガ等を一定数購入し、本が読めるまでの時間を短縮した。

令和6年度取組みに対する自己評価

(1)「本の世界をより深く理解するための様々な学びの機会の提供」

- ・前年度に引き続き講演会や利用者の交流が生まれるイベントを実施し、あわせて関連資料の紹介を実施するなどして、本に興味をもってもらう機会を多く提供した。これだけでは推し量れないが、個人貸出数や来館者数は前年に比べて伸びている状況である。
- ・テーマ本・パネル展示については、利用者に区の行政や施設を案内することも重要な役割と認識しており、引き続き、他所管や文化施設等と連携しながら取り組んでいく。
- ・地域館職員にも一部事業の運営や企画に参加してもらうことで、中央図書館の取組を全館に広げていく試みを継続していきたい。

(2)「子どもの読書を支援する取り組みの拡充」

- ・電子書籍サービスや小中学校と連携した新たな配信の仕組みを活用し、子どもたちが本に出会う機会の増加や図書館主催事業の周知に取り組むことができた。今後は、地域図書館でも同様の取組みが行えるようマニュアル等の整備に努めたい。
- ・読書に苦手意識を持っている子どもたちにこそ、図書館を通じて本の楽しさを知ってほしいと考えている。図書館が子どもたちの本の入口であることを実感してもらうため、貸出データに基づき予約多数児童書の追加購入を行うことで、子どもたちが望む本を図書館が少しでも早く提供できる体制が整いつつあると思われる。このような取組みが区立図書館全体に波及することになるため、引き続きこの取組みを実施していく。

区の中央館としての取組み

中央図書館では地域図書館としての取組みに加え、区の中央館としての取組みも実施している。主な取組み内容は以下の通りである。

（１）選書基準について

（基本方針１ 「求められる知識・情報を確実に提供する図書館」 取組項目「知識を深め認識の世界を広げるようなコレクションの構築と提供」）

資料の収集方針や除籍基準を含めた新たな選書基準の整備・公表に向けて、今後の図書館に求められる役割、出版状況および情報メディアの変化なども見据えながら作業を進めている。

（２）図書館アプリについて

（基本方針５ 「図書館ＤＸとリモートサービスの推進」 取組項目「図書館サービスを利用するためのアプリの検討」）

令和６年度図書館運営協議会やアンケート調査の意見とともに、費用対効果も検証した結果、既存のシステムにおいて概ね同様の機能を確保する方向で検討している。なお、アプリ内に導入を想定していたスマートフォンで共通利用カードのバーコード表示できる機能については、令和７年３月から導入・運用を開始し、利用者の利便性向上を図っている。

（３）図書館ブックボックスについて

（基本方針５ 「図書館ＤＸとリモートサービスの推進」 取組項目「非来館型図書館サービスの取り組み」）

令和６年４月より、小田急線下北沢駅構内に予約資料を受け取れる「図書館ブックボックス」を設置し運用している。令和７年度においても烏山区民センターをはじめ、３か所に追加設置する方向で調整している。

（４）職員の研修について

（基本方針６ 「専門性と効率性を両立した運営体制」 取組項目「職員に必要な専門知識とスキルの向上」）

司書講習派遣のほか、選書やマネジメント研修（各館長対象）といった内部研修、国立国会図書館等が実施する外部研修などを通して職員の人材育成を継続的に図るとともに、レファレンス研修の実施回数を増やすなど専門性向上の取組みを強化している。

（５）管理運営方針について

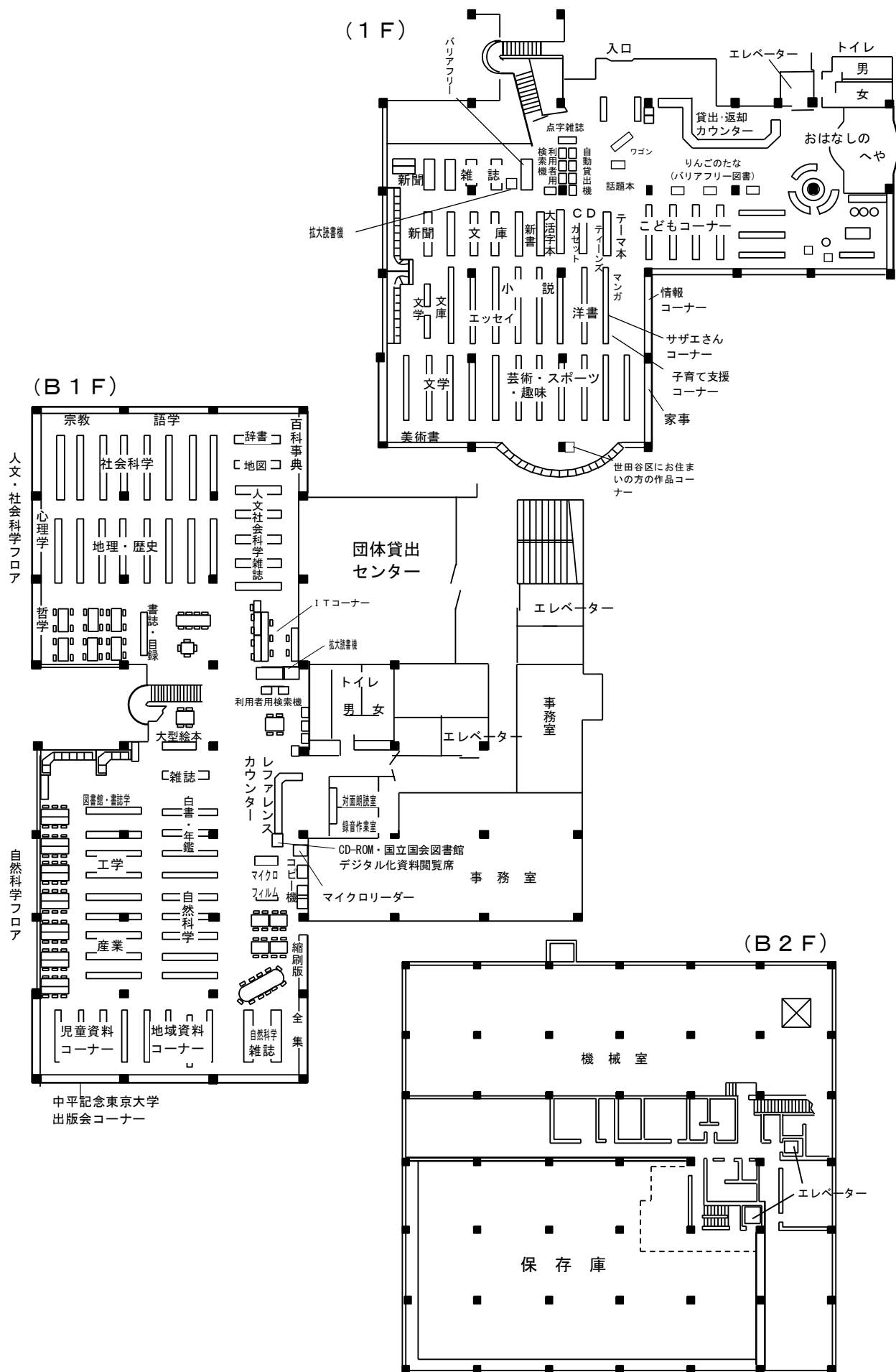
（基本方針６ 「専門性と効率性を両立した運営体制」 取組項目「直営及び民間活用それぞれの特色を踏まえた施設ごとの管理運営方式の検討」）

直営および民間活用それぞれの特色を踏まえた今後の図書館の運営の在り方に関する方針（管理運営方針）の策定に向けて、令和７年９月に管理運営方針（素案）を区議会に報告した。引き続き区としての分析・評価等を行い、より具体の取組み内容等について管理運営方針（案）として取りまとめていく。

図書館運営協議会からの意見・提案

中央図書館

開 設	昭和 6 3 年 7 月 2 6 日
所在地	弦巻 3 - 1 6 - 8 複合施設名称 『世田谷区教育会館』
構 造	鉄筋コンクリート地上 3 階地下 2 階建 図書館は地上 1 階、地下 1・2 階の一部
床面積	5, 8 0 7. 7 m ² (地階 団体貸出センター部分 1 8 0. 4 m ² を含む)
対面朗読室	1 室
閲覧席	1 1 9 席 (パソコン利用可能席 : 全席、コンセント口数 : 5 4)
資料数	図書資料 4 9 0, 7 9 8 (書架 278,853 保存庫 211,945) 音響資料 9, 1 6 3 (CD、カセットテープ) 障サ資料 9, 7 5 1 (録音図書、点字本、デージー図書) 合 計 5 0 9, 7 1 2 (団体貸出センター) 8 0, 9 9 2



項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		4-5年度 増減数	5-6年度 増減数
		冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比	冊数	分野別 構成比		
図書資料 所蔵数 ※児童図書 () 書き は、所蔵数 合計に対し ての比率 ※雑誌・タ イトル数 は、保存庫 分は含めな い	総記	16,650	3.9%	16,230	3.8%	16,419	3.9%	△ 420	189
	哲学	18,306	4.3%	18,193	4.3%	18,308	4.3%	△ 113	115
	歴史	39,312	9.3%	39,575	9.4%	39,951	9.4%	263	376
	社会科学	75,128	17.8%	75,342	17.8%	75,124	17.7%	214	△ 218
	自然科学	35,617	8.4%	35,463	8.4%	35,327	8.3%	△ 154	△ 136
	工学	32,590	7.7%	32,030	7.6%	31,547	7.4%	△ 560	△ 483
	産業	17,670	4.2%	17,662	4.2%	17,659	4.2%	△ 8	△ 3
	芸術	36,998	8.8%	36,596	8.7%	37,096	8.8%	△ 402	500
	語学	7,885	1.9%	7,966	1.9%	7,887	1.9%	81	△ 79
	文学	110,956	26.3%	111,402	26.3%	111,742	26.4%	446	340
	地域資料	26,206	6.2%	26,846	6.3%	27,668	6.5%	640	822
	その他	5,156	1.2%	5,544	1.3%	4,865	1.1%	388	△ 679
	一般図書 計	422,474		422,849		423,593		375	744
	児童図書	63,821 (12.6%)		64,509 (12.7%)		63,521 (12.5%)		688	△ 988
	大活字本	1,361		1,283		1,474		△ 78	191
	デジタル資料	1,014		1,033		1,119		19	86
	マンガ	0		0		1,091		0	1,091
	音響資料	8,925		9,018		9,163		93	145
	障サ資料	9,721		9,804		9,751		83	△ 53
	所蔵数合計	507,316		508,496		509,712		1,180	1,216
	雑誌・タイトル数	777		784		772		7	△ 12
図書資料 貸出数	一般図書	392,921		387,353		392,314		△ 5,568	4,961
	児童資料	269,031		264,454		276,677		△ 4,577	12,223
	大活字本	1,717		1,874		1,877		157	3
	デジタル資料	12		18		9		6	△ 9
	マンガ	0		0		6,957		0	6,957
	雑誌	38,982		36,786		33,733		△ 2,196	△ 3,053
	音響資料	17,255		15,244		13,001		△ 2,011	△ 2,243
	障サ資料	1,198		951		1,163		△ 247	212
	貸出数合計	721,116		706,680		725,731		△ 14,436	19,051
登録者数	一般	30,163		29,209		29,593		△ 954	384
	児童	4,686		4,570		4,608		△ 116	38
来館者数		403,459		418,194		444,766		14,735	26,572
予約数		190,820		180,761		187,306		△ 10,059	6,545
コピー枚数		80,318		78,587		74,009		△ 1,731	△ 4,578
図書館職員数（フルタイム 換算）（各4月1日現在）※		74.0		73.0		72.8		△ 1.0	△ 0.2

※フルタイムは1日8時間、週40時間勤務として算出する。ただし、梅丘、世田谷、下馬、経堂図書館及び
図書館カウンターの運営事業者のフルタイムは1日7.5時間、週37.5時間勤務として算出する。

世田谷区立図書館の特色等一覧表（地域特性・独自の取組み・強みなど）

No	図書館名	特色（地域特性・独自の取組み・強みなど）
1	中央図書館	・保存庫と合わせて50万冊の図書と1000タイトルの雑誌を所蔵している。 ・長谷川町子作品及び関係する資料を配架し、関連する展示を行っている。 ・プラネタリウムを併設し、関連した資料の展示やイベントなどを実施している。
2	梅丘図書館	・現在は建物の老朽化により、令和5年11月から改築工事を実施している（令和8年2月開館予定）。新館開館までの間は仮事務所で貸出・返却等を行っている。 ・新館は梅ヶ丘駅徒歩5分、梅まつりやプレーパークで有名な8万㎡を超える羽根木公園内に位置しており、駅前には商店街、近隣には「うめとぴあ」や特別支援学校、児童相談所など医療・福祉関連の施設があり、地域資源が豊富で、自然あふれる立地環境である。新館でも旧館と同じく「福祉のまち 梅丘」地域にある図書館として、障害者・高齢者・子育て家庭等に関連する健康・医療・子育て情報を発信する予定である。 ・梅丘図書館で活動するボランティア団体が制作する布絵本を区内の図書館で唯一所蔵、貸出を行っている。 ・旧館では閲覧席数が地域図書館としては最多で、多くの利用者が読書や勉強など様々な用途で利用していた。新館でも地域図書館としては最多の閲覧席を確保する予定である。
3	世田谷図書館	・幕末維新ゆかりの地に立地し、名所旧跡や地元商店街活動との関係性を期待できる。（文化） ・古くから地元で親しまれる世田谷線に接する唯一の図書館である。（交通） ・世田谷地域の乳幼児健診会場として図書館的な子育て支援と情報発信をしやすい。（子育て） ・国士舘大学に近く、学術的な支援を得ながら、大学の研究実践の場として貢献できる。（学び） ・区役所本庁舎に近く、身近な行政支援・レファレンスなどの連携性を期待できる。（行政） ・地元商店街の店並びが急速に変化し、新たな地域コミュニティ振興の可能性もある。（産業） ・非常に多くの公務員が集約されて勤める官公署エリアでもある。（勤労者）
4	砧図書館	・単独館であること。 3か所のまちづくりセンターや周辺の学校等地域と連携協力体制がとりやすい。 2階に児童書と子どもスペースを設けていることで大人と子どもの住み分けができている。 - 児童書および児童スペースが充実している。 - 読書活動団体が利用できる集会・会議スペースを設けていて、図書館事業もやりやすい。 ・1階に配架している実用書はNDCによらない独自の分類をとっていて書店のように探しやすい。 ・ウルトラマン商店街のはずれに位置していることからウルトラマンコーナーを設置している。 ・障害者が働いている福祉喫茶を併設している。
5	奥沢図書館	・世田谷の奥座敷と呼ばれる落ち着いた穏やかな町並みとわがまちを愛する地区活動が盛んな地域 ・令和5年4月から、施設の耐震化工事準備のため仮事務所に移転して業務を行っている。利用登録、予約本の貸出し、返却、予約受付などのカウンター業務を行うほか、限られたスペースで新聞・雑誌コーナー、新刊本棚、子どもコーナーを設置している。 ・閲覧席8席を、新聞・雑誌の閲覧利用者と小・中学生の学習利用が譲り合って上手に利用されている。
6	玉川台図書館	・瀬田、用賀地域に関わる資料を積極的に収集し、地域コーナーとして常設している。 ・世田谷美術館と事業運営に関する協定を平成23年から結んでいて、世田谷美術館コレクションコーナーを設けている。 ・大人の朗読会に早くから取り組み、現在も継続させている。 ・区民センター、児童館との複合施設故、協力して地域に根差したイベント等に取り組んでいる。 ・図書館カウンター二子玉川の親館としてバックアップしている。
7	代田図書館	・新代田駅徒歩1分に位置しており、区内で一番駅から近い図書館であるため、利便性が高い。 ・下北沢がすぐ隣にあり、演劇・下北沢・鉄道に関する資料を積極的に収集している。 ・地名の由来となったダイダラボッチの話が伝わっていることから、昔話や民話を集めたコーナーを児童書架に設置している。 ・下北沢駅徒歩3分の「ミカン下北」に立地する「図書館カウンター下北沢」の管理を行っている。
8	烏山図書館	・千歳烏山駅徒歩1分の位置にある利便性と、烏山区民センター前広場で地域のイベントが積極的に開催されるなど年間を通し常に賑わいがあることから、図書館利用者数が非常に多い図書館である。 ・近隣の障害がある方が働く施設で作られた自主生産品の展示・販売を行っている。 ・地域資料架に烏山コーナーを設置し、烏山寺町や甲州街道についての資料を集めている。

世田谷区立図書館の特色等一覧表（地域特性・独自の取組み・強みなど）

No	図書館名	特色（地域特性・独自の取組み・強みなど）
9	下馬 図書館	・都営住宅に囲まれた公園の一角に位置しており、立地環境から高齢者と子育て世代の利用が多い。 ・三軒茶屋駅を中心に飲食店・ショップが多数存在し、若年層を中心に賑わう地域と隣接している。 ・近隣には区の公共施設、資料館、シアター、また小中学校、大学等が多数存在しており、多様な文化学習資源に恵まれた地域である。 ・世田谷区立図書館の中では数少ない図書館単独の施設であり、「図書館」としての有用性と独自性の発揮が期待されている。 ・下馬という地名につながる「源頼朝」関連図書を、地域の特色ある資料として収集している。
10	深沢 図書館	・駅から離れた住宅街にあり、地元住民の利用が多い。 ・児童文学作家の中川李枝子氏の著作を集めた「ぐりとぐらコーナー」がある。中川氏は令和4年10月に世田谷区の名誉区民に顕彰された。 ・図書館のある建物に深沢区民センター・深沢児童館があり、共催で行事を開催している。
11	桜丘 図書館	・地域特性として、近隣に在住していた俳優の森繁久彌氏に関する資料を集めたコーナーを設置している。定期的に主演映画の上映会や講演会を行っている。 ・経堂地区の認知症希望条例アクションチームに参加しており、「認知症の人にやさしい図書館」の取り組みをすすめていく。 ・希望ヶ丘団地内にある希望丘図書室を管理しており、地域の事業に協力している。
12	尾山台 図書館	・ライトノベルのコーナーを設けている。 ・採光が良くステンドグラスが設置されている。通路が広く書架の間を移動し易い。 ・駅徒歩3分で商店街の中という利用し易い立地にある。
13	上北沢 図書館	・駅近（徒歩5分）の閑静な住宅地にある。館内が広く、落ち着いて過ごすことができる。 ・近くに都立松沢病院があることを踏まえ、心と体の健康に関する資料所蔵に重点を置き、入口のすぐそばにコーナーを設けている。 ・賀川豊彦（社会活動家）に関する資料の収集や、地域在住作家の影絵作品の展示などを通して、地域との連携を図っている。
14	粕谷 図書館	・京王線千歳烏山駅から南へ徒歩10分程度にあり、周囲は閑静な住宅地に囲まれた隠れ家的な図書館である。 ・明治・大正期の文豪、徳富蘆花が後半生を過ごした地となる蘆花恒春園と近接しており、同作家の作品を集めた『徳富蘆花コーナー』を設け資料の収集、展示をしている。 ・徳富蘆花の著書『みみずのたはごと』では当時の自然豊かな粕谷地域の生活風景が描かれており、都立芦花公園の花の丘にも因んで、花や虫に関する本を充実させ、生きものや命の大切さの学びに資している。
15	鎌田 図書館	・成城と二子玉川の間に位置しており、駅からの利便性はよくない。 ・利用は地元の方が中心であり、身近な図書館という意識が強く満足度も高い。 ・この地域は住戸の建設が続いていることから引越してきた家族等の利用が多い。 ・小中学校と隣接していることから児童、学生の利用が多い。 ・付近に位置する静嘉堂文庫や民家園に関するコーナーの展示を実施。
16	経堂 図書館	・小田急線経堂駅の高架下であり駅から徒歩1分でほぼ雨に濡れずに来館できる。 ・ビジネス資料や就職支援に特化した資料を収集しているビジネスコーナーがある。 ・座席予約システムによって効率よく座席が利用できるビジネス閲覧席がある。 ・ビジネス本の要約サービス「flier」をビジネスコーナーで利用できる。 ・障害者施設自主生産品「はっぴいハンドメイド」の製品の一部を購入できる。 ・感染症予防にも効果があり安心・安全な読書を助ける図書除菌機がある。

「全館共通協議事項」について

1 主旨

これまで、各館の評価・検証を実施してきた中で、各館単独ではなく全館に共通するテーマについて、第4回・第5回協議会で課題や対応策などについて協議する。

協議事項の候補は、下記「2」のとおりだが、時間の関係上、2つ程度に限定して協議を行う。

2 協議事項 候補案

- (1) 児童向け資料の貸出減少の背景と対策
- (2) 学校・地域との連携事業の課題と対応（生徒による学習目的利用を含む）
- (3) 分類と配架・書架見出し・展示のあり方
- (4) 自動（セルフ）貸出機の利用促進策
- (5) 利用者アンケートの回収数の拡大に向けた促進策

3 協議に向けた資料の記載案

- (1) 協議事項の現状と課題（現状の数値等のデータがあれば記載する）
- (2) 協議会からの意見・提案
- (3) 今後の対応策